

きずな

2019 **7** July

今号の題字

高原町立高原中学校 3年

今西 友衣菜さん



全校ですすめる

「礼始礼終」

高原町立高原中学校(盛満政仁校長・生徒数205名)の生徒は、登下校の際に正門前で一礼して出入りしています。これは、本校の校訓である「礼始礼終」を形にするための取組です。生徒会役員は毎週、月曜日の放課後と木曜日の朝に正門前に並び、あいさつ運動を実施しており、回を重ねるごとに生徒の意識も高まってきています。

また、集会時は話をされる方が登壇するまで正座で待ち、授業や清掃の始まりは黙想して気持ちを落ち着けてから活動に入ります。礼儀を大切にし、はじめのある行動ができる中学生になることを目指して、これからも高原中の伝統になるよう「礼始礼終」に取り組みます。

【教頭 西岡雅弘】

CONTENTS

- ② 宮崎県PTA連合会定期総会
- ③ 宮崎県PTA連合会役員紹介
- ④ 国内研修
コラム「三輪車」
- ⑤ 宮崎県PTA新聞講習会
県P情報
- ⑥ トピックス「西都市立三納小中学校」
編集後記



編集・発行：宮崎県PTA連合会

発行責任者：西府 茂樹

宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階 Tel:0985(22)3081 FAX:0985(20)9443

http://www.miyazakikenpta.com E-mail: mken-pta@io.ocn.ne.jp

「教育ブランド西都」の創造

家庭、地域との連携を深め、相互理解・情報の共有等を図る三納小中学校

〔西都市立三納小中学校〕（渡部 誠一郎校長 児童生徒数146名）

三納地区は県のほぼ中央に位置しており、一ツ瀬川の支流に沿い、約74km²の面積をもつ農産地です。西

議会」という組織があり、地域住民をあげて人と人がつながれる元気な三納づくりに向けて献身的に活動をしていただいています。校庭には大木老樹が配置され、保護者の協力により美しく整備されています。

このような環境の中で、児童生徒は素直で明るく、教えられたことをしっかりと守ろうとする良さがみられます。また、小中一貫教育の良さを生かし学習活動や体験活動にも熱心に取り組んでいます。

三納小中学校小学部の児童は朝、正門を通過したら、時計台の土台に書かれている「こんな三納っ子に」を唱和します。登校班ごとに横一列に並んで元気よく読み上げます。その後、すぐ右横にある職員室にいる先生方にあいさつをします。また、各学期始めには、地域の方に正門付近であいさつ運動を行っています。

10月開催の小中学校合同での運動会に向けて、「親子ふれあい奉仕作業」を行います。これで、運動会も気持ちよく実施できます。運動会当日は、小学部6年生と中学部3年生が親子団技を行います。特に中学部3年生が親を背負ったり抱きかかえたりして競技する姿には大歓声がかかります。12月にはPTA主催で「門松づくり」も行われます。竹を切りだしてるところからの作業になります。おかげさまで大変立派な門松が出来上がり、気持ちのよい年始が迎えられます。

このように、地域と学校が一体となり連携を深め、相互理解、情報の共有等を図りながら三納小中学校がさらに発展していきますように、今後ともさまざまな活動を展開していきたいと思えます。

【教頭 石原 秀敏】